

平成31年3月15日

佐々木 朗

初級モールス講習会の実施について

1 経過

第三級以上のアマチュア無線技士の資格習得における電気通信術が廃止になって久しい年月が経った。試験問題には、モールスに関わる問題が出題されるが、ほとんどの三アマはモールス通信の経験がなく、興味を持ってくれることも少ないのが現状である。

私は、モールス通信の楽しさを広げていくため、過去に今回提案するような形の講習会を実施してきた。当時は、三アマにも電気通信術があり、合格者を輩出することもできた。私の勤務の都合上、毎日の講習は困難となりしばらく講習会もお休みしていた。

今年正月にある程度の技能を持った方を対象ということで、実践講座を企画したが、参加者の都合がつかず、実施できなかった。また、応募者も少なかった。

今回、開局間もないJM8の方から、モールスを覚えたいという希望があり、私としては、是非何らかの形でその希望に応えたいと考えた。その一方現在の私の生活スタイルは週末マイホームであり毎日の講習はできないが、週末のみのならば可能ということで、今回講習会を実施したいと考えた。

2 目的

- (1) 全くのゼロからモールスを学び、基本的な受信技能を身につける。
- (2) HF帯で実際にモールスによる交信ができるような通信技能を身につける。

3 参加対象 モールス通信に興味を持ち（現資格は問わない）で、145メガのFMを送受信できる者

- ### 4 日時 毎週土曜日午後8時40分～午後9時頃まで
- ※平成31年3月16日（土）を初日とする。
※一応の終了の目処を6月いっぱいとする。

5 主催者 JARL渡島檜山支部

6 講師 佐々木 朗

第一級アマチュア無線技士 第三級陸上特殊無線技士

JARD 講習会講師・管理者資格
JARL 渡島檜山支部役員
厚沢部町立小学校勤務
電信による交信実績 2万局以上

7 内容及び到達目標

- 第一段階 ゆっくりとしたスピードでA～Zの符号を受信することができる。(5回)
- 第二段階 ゆっくりとしたスピードで、英文を受信することができる。(3回)
- 第二段階 ゆっくりとしたスピードで数字の符号を受信することができる。(1回)
- 第三段階 ある程度のスピードで、コールサインを取ることができる。(2回)
- 第四段階 2mFMで模擬交信をすることができる。(2回)
- 最終段階 短波帯でモールスによる交信をすることができる。

(できるようになるまで)

※回数を目処は、参加者の技能を鑑み、判断する。

※最終段階の指導については、銭亀シャックで行う。

8 方法

- (1) 講習は145メガのFMを使って、マイクから短波帯無線機のサイドトーン拾い、それを使って行う。
- (2) 指導者は、段階に合わせて、符号、答えを送出する。受講者は、打たれた符号をノートに書き留める。
- (3) 通常の通信という正確上、10分を基本に呼出符号を送出することが必要であり、参加者の一人に、マイクを渡す。その場合「JH8CBH こちらはJ08000。良好に受信できております。どうぞ」等簡単に答えてもらう。したがって参加者がいない場合は、実施できない。

9 準備するもの

- (1) 指導者 145MHz FM及びサイドトーンが出る無線機。電鍵
- (2) 受講者 新しいノート

※自分の成長を確かめる意味で、メモ用紙などは適さない。

10 申し込み

・特にないが、講習時に声を出し、参加している旨を示してほしい。

11 照会

本件の照会は、講師 佐々木 朗まで

厚沢部町館町 1 8 7 番地 1 0139-56-1726 日曜日の夕方から金曜日の夜
函館市銭亀町 210 番地 12 0138-86-7039 金曜日の夜から日曜日の午前中
携帯 090-8277-9744 メール asasaki@edu-hakodate.jp